

まち・ひと・しごと創生総合戦略会議事業検証部会

開催日時 平成28年4月19日(火) 13:30～

開催場所 生駒市役所 4階 401・402会議室

出席者

(委員) 久委員、大原委員、西岡委員

(事務局) 坂本市長公室長、石畑市長公室次長、坂谷政策企画推進課長、岡村政策企画推進課課長補佐、日高政策企画推進課政策企画推進係長、高松政策企画推進課員、
甫田防災安全課防災係長、平尾いこまの魅力創造課課長補佐、大垣いこまの魅力創造課魅力創造係長、知浦経済振興課課長補佐、辻経済振興課員、吉田子育て支援総合センター係長

【事務局】開会宣告、公室長挨拶、委員紹介、事務局紹介

以下、発言要旨

【久座長】 今回は先行した5事業について有識者のみで検証させていただくということとで1回限りということになるが、また後日、総合戦略全体についてはしっかりと議論をさせていただければと思う。それでは、早速ここから案件に入っていきたいと思うが、まずは案件の1番の総合戦略会議について、事務局の方から説明をお願いしたい。

(事務局説明)

【久座長】 ただいまの内容について、何かご質問等あるだろうか。よろしいか。それでは、続いて、地方活性化地域住民生活等緊急支援交付金についてご説明いただきたい。

(事務局説明)

施策No.1-1-1 保育園の新設・機能強化

【久座長】 ただいまの説明はいかがだろうか。何かご質問などあるだろうか。よろしいか。それでは、順に検証を進めていきたいと思う。まず1番目の私立保育所の保育環境改善事業から検証をさせていただきたいと思う。子育てしやすいまち、それから、基本的方向の1-1、子育て層の時間的なゆとりを作るところで作られている事業である。

K P I の方、目標が 1 0 5 % というのに対して、実現 1 0 1 %、若干低めということで、その下にも理由が書いている。

【大原委員】 あすか野保育園、生駒保育園で応募なしということは、もう十分行き渡っているから応募がなかったということか。

【事務局】 今回、遊具の設置に限定して園を募集したが園庭の方に遊具設置するスペースがなかったということで、欲しいが場所がないということで応募がなかった。

【大原委員】 ある程度の効果があったんじゃないかということで、B としたい。

【西岡委員】 私は結論としてはCかなと。遊具の設置に対する補助というのは長い目で見ても、一定の効果があるというようなことなので、こういうことは進めていただければ、1 年目で 1 0 1 % というのはまずまずということでCなのだが、今後は地域ごとにはばらつきがあるのかどうか、待機児童の数とか、そういうようなことを分析されて、幼稚園ごと、あるいは地域ごとに重点的にこういうことをというように進めていかれたらいいんじゃないかなというのが今の私の考えである。

【久座長】 それでは、最後に私の方からお話をさせていただきたいと思うが、私もCかなというふうには思っている。理由やコメントは西岡委員に近いのだが、まず、なぜCかという、1 0 0 が 1 0 1 になって、若干は効果が上がってるだろうなどは思うが、1 0 5 を目指してるわけなので、そういう意味ではちょっとまだまだ不十分かなというふうなところでCというような判断をさせていただいた。

もう1つお話をすると、本当にこれは根本だが、遊具を魅力的にすることによって成果出せるのかどうかということだが、園そのものが魅力的になったりしないといけない。今後、この保育園に対する支援をする場合は、少し全体のストーリーをもう一度考えていただくといいのかなと。

【西岡委員】 基本的な質問かもしれないが、K P I の指標と基本目標の指標の関係というのはどういうものなのか。

【事務局】 総合戦略については、主要施策の体系ということで、大きく3本の柱を掲げていて、基本目標1として、子育てしやすいまちというのを実現していこうと。その実現に向けて進捗状況を進行管理するために、子育て層の住みやすさの、子育て層の住みやすさの満足度であったり、その世代の定住意向の割合を数値目標として設定し、その数値を測っていこうと。2つ目が、母親が希望の仕事ができるまちということで、女性の就業者数や起業数といったものを数値目標として設定している。3つ目が子育て層、特に女

性が転入したいというまちということで、子育て層の転入者数とそれぞれその3本柱の数値目標を掲げ、これを達成する大目標がある。この目標を達成するための具体的な施策として、20ほどの具体的な施策をそれぞれ挙げている。この施策を進めていけば、3つの基本目標に掲げたものが達成できると考えている。

では、具体的な施策や事業をどうやって進行管理していくかというところでKPIというものを設定して、事業の進捗状況を測っているという大きなスキームである。

【久座長】 ざっくり言えば、3段階構えだということになる。その基本目標を追っかける部分というのがあって、それから方向、施策を追っかける部分があって、一番具体的には事業の部分がある。 ついでにお話すると、総合計画のときはいつもお願いしているが、効果が上がらなかったら、上がらなかったと正直に書けるようにしていただきたい。どうしても効果が上がらないということを書きにくいのが、評価をする側も、される側も本当に効果がなかったら、なかったと共有しようじゃないかと。そうすると、頑張っても効果が上がらない事業を早々に諦めてしまって、次の別の事業に展開できるじゃないかというようお願いをしているので、そういう意味で先ほど申し上げたように、こういうハード事業をやるのが本当に効果があったのかどうかという側面でもう一度全体像を見直していただくとありがたい。

担当課の方からも、そうは言われてもということもあろうかと思うので、何かあれば。

【事務局】 総合戦略については、こういった進行管理をさせていただくことで、計画はどんどん柔軟に変更していくということを国も通知しているので、ここでいただいたご意見を踏まえて対応していきたいと考えている。

1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進

【久座長】 赤ちゃんの駅は、今、設置してすぐなので、少しこのあたりは測りづらいというところもあるが、いかがだろうか。

【西岡委員】 この利用者数の180人はどういった目標なのか。

【事務局】 KPIでは、モデルスペースということで私立幼稚園と私立保育園での利用者数ということで、今回モデル的にその園で年間180人ご利用いただけるのではということで、当初、設定をしていた。ただ、その事業をもう少し早期に年度の上半期にでも実施できておれば、それぐらいになるだろうという想定で最初作っていたのだけれども、事業自体が年度の後半の方にシフトしてしまったので、実質その整備を終えてから、ご利用

用いただく人数ということが、この目標値を達成することができなかったという状況である。

【大原委員】 結論的にはCと判断しているが、今の部分で赤ちゃんの駅なら登録施設は約30カ所とあるが、この30カ所について説明いただきたい。

【事務局】 まずこの30カ所というのは、普及の足がかりとしてモデルスペースを設けるということで、市内の私立幼稚園や私立保育園におむつ替えの台であるとか、授乳用の椅子、またパーティションというところをこのお金を使わせていただいて、配らせていただいたということになる。それと、広報いこまち等を使って、民間にそういったものを登録しませんかということで募集をかけ、赤ちゃんの駅を普及していくという取組を、27年度中にはほとんど事業を達成できていないが、28年、ないしは29年にかけて広げていきたいと思っている状況である。

【久座長】 先ほどのところも同じなのだが、KPIは最終的には31年度で180人ということもなる。先ほども31年度で105人というところなのだが、じわじわ伸ばしていくのであれば、平成27年度がこの31年度に相当する値でなくてもいいのではと思う。

【西岡委員】 180人、とても少ないように思うのだが。

【久座長】 まず最初に全体の事業があって、最低限モデル的にもそういうスペースが整備されていないといけない。今回はそれに対して交付金を使ったというところかと思っている。

【西岡委員】 事業者の利益にもつながるような形でいろんな施策を組み合わせ、例えばベビーカーの貸し出しとか、そういう施設がたくさんあると思うのだが、そういうのにお金を使うとかいうのも効果的じゃないかなと思う。これは検証が難しい。

【大原委員】 こういう方向で事業所も子育てをしやすいまちだということを訴えていくということを取り組まれたということで、全てを前向きに考えて、別に今はまだできてないけれども、生駒市の取り組む方向はこうですよというのをPRできてるならばBだが、私はこのポスター等があまりまだ広く知られてないと思うのでCと判断する。

【西岡委員】 整備をされた事は事実であり、その登録ができる状況にもあるということも事実であるので、事業としては進捗している。その効果を測るという指標がないので分からないが、こういう事業を現に実施されたというふうなことでは評価はできるんじゃないかなというふうに思う。

【久座長】 これはA B C D Eの中で、可もなく不可もなくという評価がないので、まだ動いていないし、数値も出ていないので、評価はなかなかしづらい。

1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上

【久座長】 乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄。一つ目のK P Iは備蓄品の活用回数で、目標値は平成27年度の4回、実績値は3回で1回少ない。それから2番目のK P Iはパンフレット延べ配布数が全部で1,500ということで、配布はできているということ。それから、子育て層の定住意向、ずっと住み続けたい割合というのが50%で、残念ながら43%ということになっており、住民への周知など不十分だったという評価をされておられる。

【西岡委員】 パンフレットの配布というのは、何かの目標なのか。

【久座長】 一緒にパンフレットを作り上げていくとか、あるいは何か楽しく実践することによっていろんな効果が出てくるということがあると思うので、そのあたりを工夫していただくと、より効果的な展開ができるんじゃないかなと思う。

【大原委員】 こうやって自治体から申し出もあって置いていただいたり、防災コーナーを作っていたり、特にこういう時代、ないよりあるほうがいいと言えば非常に効果はあるかなと思うので、評価としてはCで。

【西岡委員】 私も結論としては、Cかなと思う。先ほども施設の数と言ったが、そういう備品を設置する場所を何カ所に増やしていくというものを各年度の目標として取り組んでいかれたらよいと思う。

【久座長】 私もCかなと思う。ただ、先ほども申し上げたように、物やパンフレットができたので、これをうまく活用していただくと、より効果は出てくるように思うので、今年度はCという評価だが、活用次第ではBになったりAになったりというふうに伸びしろがある事業かなと思っているので、そのあたり、今後とも検討をお願いしたい。

2-2-1 市内産業の活性化

【久座長】 事業所に対する機器購入の補助ということになるが、K P Iの目標値が平成27年度に2.0%に対して、これもまだ成果が出てないということになっている。それから、もうひとつのK P Iの機器導入件数が平成27年度の目標値が24件のところで、実績は12件ということで、活動等についての1件当たりの事業規模が大きかったという

理由が書かれている。いかがだろうか。

【西岡委員】 事業の趣旨として、女性の雇用を創出したり、女性の離職を減らしたりというところに特化した補助事業にすべきだと思う。補助の対象を女性の就業支援というか、そういうことに特化するのが望ましいのではないか。

【久座長】 お金を差し上げるときが何かといろいろ行政が言わせていただくチャンスなので、本事業はこういう目的で補助していますよと。だから、お金を使わせていただくことによって、御社の女性就業者を、1人でも2人でも増やしていただくとうれしいという一言があるならよかったなど。

【西岡委員】 その指標としても、売上げ増というのは、ある程度、その女性の就業が進んでも、経済動向とかに左右される部分とかあると思うので、景気が冷え込んだら、実際の女性の就業が進んでいても、そう売上げが増えてないというようなことがあるかと。例えば、国でも女性の従業員比率などの指標を考えて、掲げるかどうかは別として見ていく必要があるんじゃないかなと思う。

【久座長】 それでは評価をいただければと思う。

【大原委員】 立場上というか、非常に役立っているからBだなと思いながら、もともとの、今おっしゃってるような母親が働きやすいというところまで達しているかというところの評価になるかなど。

【西岡委員】 同様である。先ほども申し上げたが、経済振興とか雇用創出には、大きい意味では間違いなくつながっているが、この施策の趣旨である子育て中のお母さんとか、そういうことに対して効果が出てるかというところと、ちょっと難しいかなというところでCとさせていただく。

【久座長】 私も同様である。理由も同様で、Cという評価をさせていただきたいと思う。また今後使っていただいた事業者の方にも総合戦略の話を知っていただけてほしい。

3-1-4 協働による魅力創造

【久座長】 KPIが2つある。誇りを持っているという人の割合が目標値、59.1%のところを、実績値が53.7%ということになっている。それから、居住を人に勧めたい人の割合が目標値50.2%で、実績は53.4%ということになっている。

【大原委員】 費用対効果で見た場合、880万円のお金と本当に子育てしている人をターゲットにお金を使えば、もっと有意義に使えないのかという疑問はある。だから、評

価はこの880万円の使い道ということを考えてしまい、Cにしておく。

【西岡委員】 客観的な指標で測定が難しいのだが、先ほどと同じように、実際フェイスブックやファッションショー等で、いろいろ協働による魅力創造という具体的な施策を実践できてるんじゃないかと思う。ただ、本当にその効果の測定というとな難しいかと思うのでCかなと。

【久座長】 私もトータルとしてはCという評価をせざるを得ないのかなというふうに思う。これも西岡委員と同じような感想になるが、事業そのものとして評価は高いが、それがKPIに還元してますかと言われてしまうと、少しまだまだ距離があるというふうなところになってしまう。

【大原委員】 市民の方と熱心に取り組んでおられるのは目にしているのですが、評価は高いのだが、今後作っていても、シネアドで上映するには880万かかるのか？

【事務局】 同じ規模で同じ期間上映すればそうなる。

【久座長】 ちなみに、これは事務局の方には従前にお話はさせてもらったのだが、発信されることによる効果だけではなくて、この実際に集まってくださっている方のシビックプライドも高まっているはずで、そこも評価に入れていくと、かなり違う評価ができてくるんじゃないかなというふうに思っていた。だから可能性とか、あるいは評価の仕方というのはいろいろあるので、さらにそのあたりも工夫の余地はまだあるのかなというふうに思う。またお金の話を言えば、いつまでも市役所の税金を頼りにするとか。交付金を頼りにするんじゃなくて、市民がお金を出し合いながら、自らやっていくというのが最終的な目標ではないかなと私は思っているのですが、そういうところまで上手く持っていったら、より効果が出てくるのかなと思う。

3-2-1 まちの魅力発信

【久座長】 こちらのほうはKPI、2つで、PRサイトのユニークユーザー数の目標値が2,500人で、実績値が5,600人ということで、2倍以上ということになっている。それから、子育て層の転入者数の目標が1,200人で、実績値が1,087人ということである。細かい話、比較していただきたいのが、バスツアーが募集人数に対して、参加が少なかったというのがもったいないなと思うのだが。

【事務局】 お昼ご飯を食べるところの、最大人数がこの人数だったためである。近鉄さんがモデルハウスで最後説明をしてくださったが、そのモデルハウスに入れる最大の人

数が20名であった。

【久座長】 これだけ応募があり、来るということは、有料でも来る可能性はあるかなと思う。

【西岡委員】 このパンフレット等は、大阪などから転入者というか、移住者が多い地域の方では配布とか、どこか設置したりとかはしているのか。

【久座長】 加えて、どこに置くと効果的かという戦略みたいなものは考えられているのか。

【事務局】 このパンフレットの設置については、不動産事業者等をたくさん回って、何社かお話をしたが、やはり生駒に住みたい人は生駒に物件を見にくるので、窓口は自分たちでいいんじゃないかということで、生駒の事業者さんに協力を今いただいている。

【久座長】 例えば子育て層なので、大阪市内とか奈良市内の産院に置いてもらうとか、待合でとってもらって、あれ？ 子どもが大きくなったら、生駒もいいなという話で。それでは、評価はいかがだろうか。

【大原委員】 私はどうしても費用の面で見るので、Bで。あとご指摘のように、ターゲットというか、どこで配るかとかいう問題はあるが、取り組みとしては非常に活発にやっておられて効果出てるんじゃないかということでBで。

【西岡委員】 私も今日、幾つか評価させていただいて、今後大きな成果が期待できる取り組みをされてるというふうに思った。実際のこの実績というのも、目標値を超えているということもあるが、今後、こういうことを続けていければ、非常に魅力発信という意味ではいいんじゃないかなと思う。そういうことも含めて、Bかなと思う。

【久座長】 私もBということにさせていただきたいと思っている。特にKPIでは、ユーザー数が目標値の既に2倍になっているので、こういうところの成果も一定出てきているかなと思った。それから、先ほどもお話ししているように、かなり可能性の高い事業かと私も思うので、きめ細かな戦略をもっともっと立てていただいて、より魅力的な発信をしていただければと思う。それでは、全体を通して何か委員の皆さんからご意見等あるか。事務局等からも全体的になにかコメントをしておくことはないか。

【事務局】 本日、ご意見賜った分で、検証シートについては、もう少し次回の全体会までに工夫をしたいと考えている。

【久座長】 それでは、これで終了させていただく。

【事務局】 今後の進行管理手順等説明、閉会宣告。